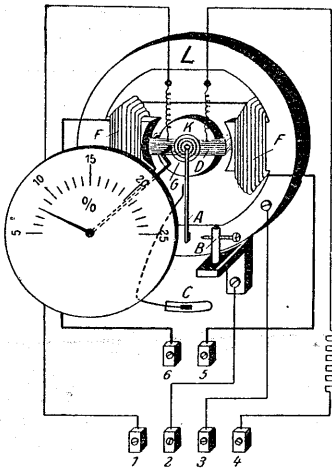


接地継電器

Type RW 1

用途： 接地選擇保護用として中性點の抵抗接地式送電線路に最も廣く用ひられます。又單極電力繼電器として用ふることも出来ます。



第一圖 接地継電器
内部構造略圖

動作並に構造： エレクトロダイナモメーターの原理に依る電力計型でありまして $E.I.Cos\phi$ にて動作致します。内部構造は第一圖に示す如く固定線輪 F と可動電圧線輪 D とを有し生ずる磁氣力線を完全に鐵中心に通ぜしめる爲めに結閉型鐵心 L を用ひてあります。接觸子 A は渦巻彈條 G を介して可動線輪 D の軸に取付けられ接觸子レバーはオイルダンパー C に聯結されてあります。G の一端は感度調整用指針に結合され指針を動かすと G の彈心を變化して可動線輪の廻轉力を變化させること

になります。

働作電力： 定格電流 5A, 定格電壓 110V, 周波數 15—60C に於いて 2—10% 即ち 11—55Watt. に調整出来ます。

電力消費量： 電流線輪は調整に従て 0.02—0.5 VA 電壓線輪は 15VA

接觸子容量： 閉路式にて容量 10VA

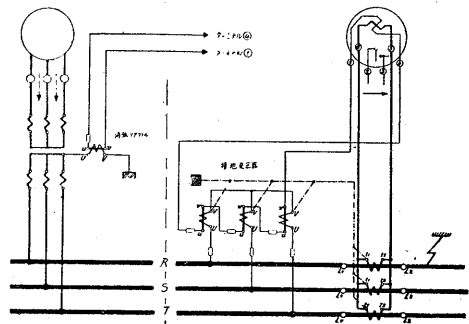
接 續： 計器用變壓器或は所内用動力變壓器三相の一次側を星形に接続し中性點を接地し二次側を三角形に接続し継電器電壓線輪を接続し三個の變流器の共通回路に電流線輪を接続し使用致します。

試験電壓： 2000V

Type Rb W1

用 途： 中性點非接地式送電線に對し接地選擇保護用として用ひられます。

働作及構造： エレクトロダイナモメーターの原理に依る電力計型でありまして $E.I. Sin\phi$ にて動作致します。構造は Type RW1 と殆んど同様にて單に本器は非接地式送電線用なる故一相に接地の生じた時に電流線輪に流るゝ

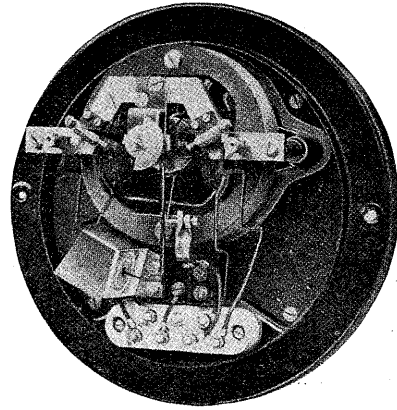
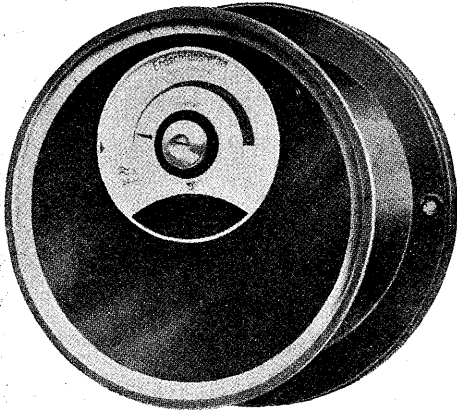


第二圖 接続圖

充電電流に對し充分働作する様に電壓線輪に特殊塞流線輪を取付け電流の位相を電壓に對し90°進ましめてあります。

働作電力： 定格電流5A, 定格電壓 110V。 定格

に於て0.01秒、1Watt に於いて0.05秒にて逆時限時性を有つて居ります。 接地時間 0.05秒以上の場合は働作電力1Watt即ち定格容量の0.2%にて働作致します。



第三圖 接地繼電器 Type RW 2

周波數15-60Cに於いて5-25%即ち27-130 Watt.に調整出來ます。

接觸子容量及 接續： Type RV1 と全く同一であります。

電力消費量： 電流線輪 0.0002~0.005VA
電壓線輪 110V に於いて 10VA

調作度數計： 附屬として供給せられ接地繼電器の働作度數を記録する装置であります。

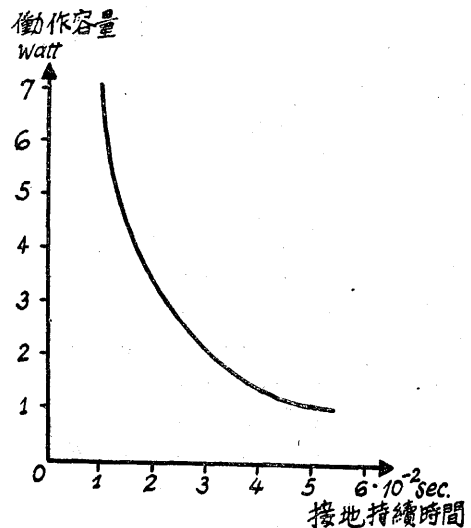
Type RW2

用 途： 消弧リアクトルに依り接地された送電線に對し接地發生を撰擇指示する爲めに用ひられます。

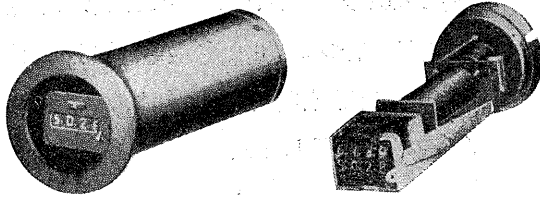
殆んど一サイクル程の極く短時間の閃絡接地を指示しよく送電線路に地氣故障の存在することを警告致します。 普通働作表示器及び働作度數計を併用致します。

働作及構造： 殆んど Type RW1 と同一でありますが使用目的上特に鋭敏に働作する様にダンパーは接觸子閉路方向には作用せずして其反對方向に對し働作致します。

働作時間及電力： 接地時間0.05 秒以下の接地に於いては第四圖に示す如く働作電力 7Watt

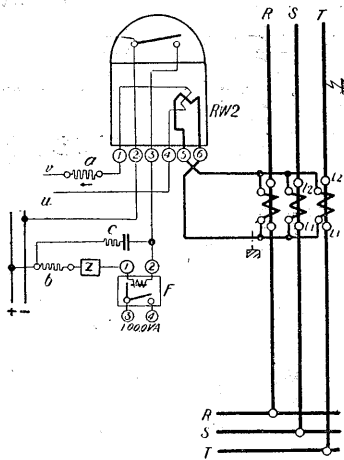


第四圖 接地繼電器の働作電力と接地持續時間とを示す曲線



第五圖 動作度数計

動作表示器 接地継電器の動作を表示すると同時に警報を與ふる爲めに用ひられます。この動作時間は0.02秒を要しますから継電器の0.02秒より短時間の動作に対しては表示せず唯度数計のみにより記録せしめます。即ち接地故障1サイクル(50サイクルを標準として)以下の動作に於いては表示せず記録する様になつて居ります。



第六圖 接地継電器 Type RW2 接続圖

- a: 継電器電圧線輪回路用直列抵抗
- b: 動作度数計及表示計用直列抵抗
- c: 消弧用コンデンサー
- f: 動作表示器(3及4は警報器に接続されます)
- z: 動作度数計
- u及vは回路の中性點と大地とに接続されます。

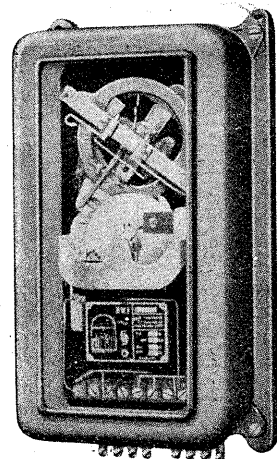
Type RW3

用途 : 感度頗る鋭敏に作られてありますから消弧装置を有する送電網にも又高抵抗接地式送電網にも用ひられます。一般に接地電流の極めて少い回路に用ふるに適して居ります。Type RW2は極く短時間の地絡を指示警報するに對し本型は比較的接地持續時間のある固定地氣に對し動作し警報を與へ或は線路遮斷を行ふ様に特に接觸片容量を充分大きく製作されます。

動作及構造 : 方向要素はエレクトロダイナモメーターの原理により $E I \cos \phi$ にて極めて鋭敏に動作致します。接觸子は接地の際生ずる中性點電壓により回轉する誘導型圓板により操作されます。圓板は一ケの瓜を備へ接地發生の場所に従ひ方向要素の働きにより其の回轉を防止され或は釋放される様になつて居ります。

定格電壓110V. 定格電流5A. 定格周波數 50C,
目方約 12kgs.

動作時間 : 定格電壓に於いて1秒



第七圖 接地継電器 Type RW3

動作電力： 定格容量の0,2%即ち約1Watt

電圧線輪： 25VA(110Vに於いて)

電力消費量： 電流線輪： 0,0002VA

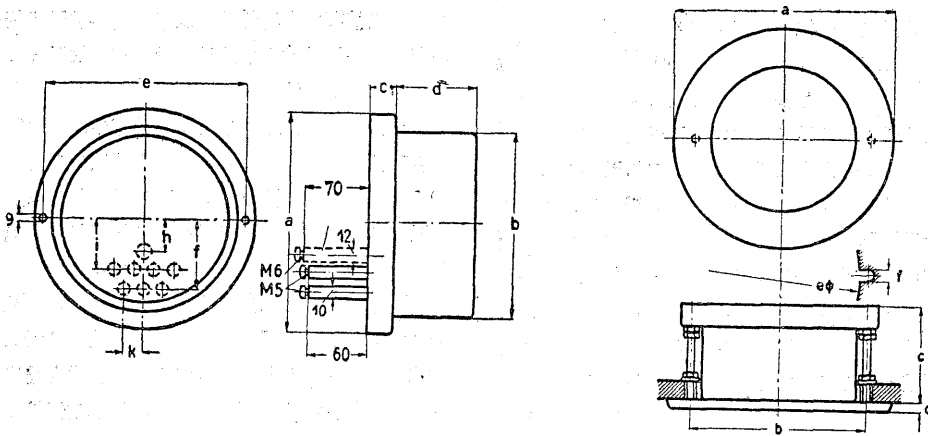
接觸片量： 閉路式に於いて 100VA

(動作電力に於いて)

内部結線は TypeRW1 と同一であります。

各種接地継電器寸法圖

Type RW1, RbW1, RW2.

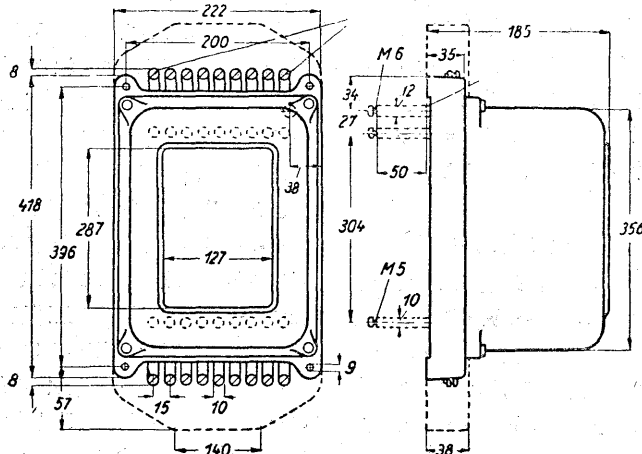


配電盤上取付型

配電盤埋込取付型

	a	b	c	d	e	f	g	h	i	k
配電盤上取付型	325	192	25	85	210	775.5	6.5	45	62.5	20
配電盤埋込型	230	210	106	10	198	—	—	—	—	—

Type RW3.





*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。